

「尖閣諸島に関する世論調査」の概要

内閣府政府広報室

- 1 調査目的 尖閣諸島に関する国民の意識を把握し、今後の施策の参考とする。
- 2 調査項目 (1) 国家の要素
(2) 尖閣諸島に関する認知
(3) 尖閣諸島に対する関心
(4) 尖閣諸島に関する広報・啓発活動について
- 3 関係省庁 内閣官房（領土・主権対策企画調整室）
- 4 調査対象 (1) 母集団 全国 18 歳以上の日本国籍を有する者
(2) 標本数 3,000 人
(3) 抽出方法 層化 2 段無作為抽出法
- 5 調査時期 令和元年 10 月 19 日～10 月 30 日
- 6 調査方法 調査員による個別面接聴取法
- 7 調査実施機関 一般社団法人 中央調査社
- 8 回収結果 (1) 有効回収数(率) 1,608 人 (53.6%)
(2) 調査不能数(率) 1,392 人 (46.4%)
－不能内訳－
転居 98 長期不在 73 一時不在 507
住所不明 12 拒否 569 災害 74
その他 59
(病気など)

9 性・年齢別回収結果

性・年齢	標本数	回収数	回収率	性・年齢	標本数	回収数	回収率	性・年齢	標本数	回収数	回収率
			%				%				%
18～19歳	76	38	50.0	18～19歳	43	18	41.9	18～19歳	33	20	60.6
男 20～29歳	338	126	37.3	男 20～29歳	173	68	39.3	女 20～29歳	165	58	35.2
30～39歳	356	166	46.6	30～39歳	178	71	39.9	30～39歳	178	95	53.4
女 40～49歳	495	262	52.9	40～49歳	242	115	47.5	40～49歳	253	147	58.1
50～59歳	479	263	54.9	50～59歳	225	116	51.6	50～59歳	254	147	57.9
計 60～69歳	484	299	61.8	性 60～69歳	233	150	64.4	性 60～69歳	251	149	59.4
70歳以上	772	454	58.8	70歳以上	356	210	59.0	70歳以上	416	244	58.7
計	3,000	1,608	53.6	計	1,450	748	51.6	計	1,550	860	55.5

調査結果の概要

1 国家の要素

(1) 国家の要素の認知

国家は、一般的に「領域（領土・領海・領空）」・「住民」・「政府（実効的政治権力を確立している主体）」の3つの要素から成り立っているといわれているが、このことについて知っていたか聞いたところ、「知っていた」と答えた者の割合が66.0%、「知らなかった」と答えた者の割合が29.4%となっている。

都市規模別に見ると、「知っていた」と答えた者の割合は大都市で、「知らなかった」と答えた者の割合は小都市で、それぞれ高くなっている。

性別に見ると、「知っていた」と答えた者の割合は男性で、「知らなかった」と答えた者の割合は女性で、それぞれ高くなっている。（図1、表1）

図1 国家の要素の認知

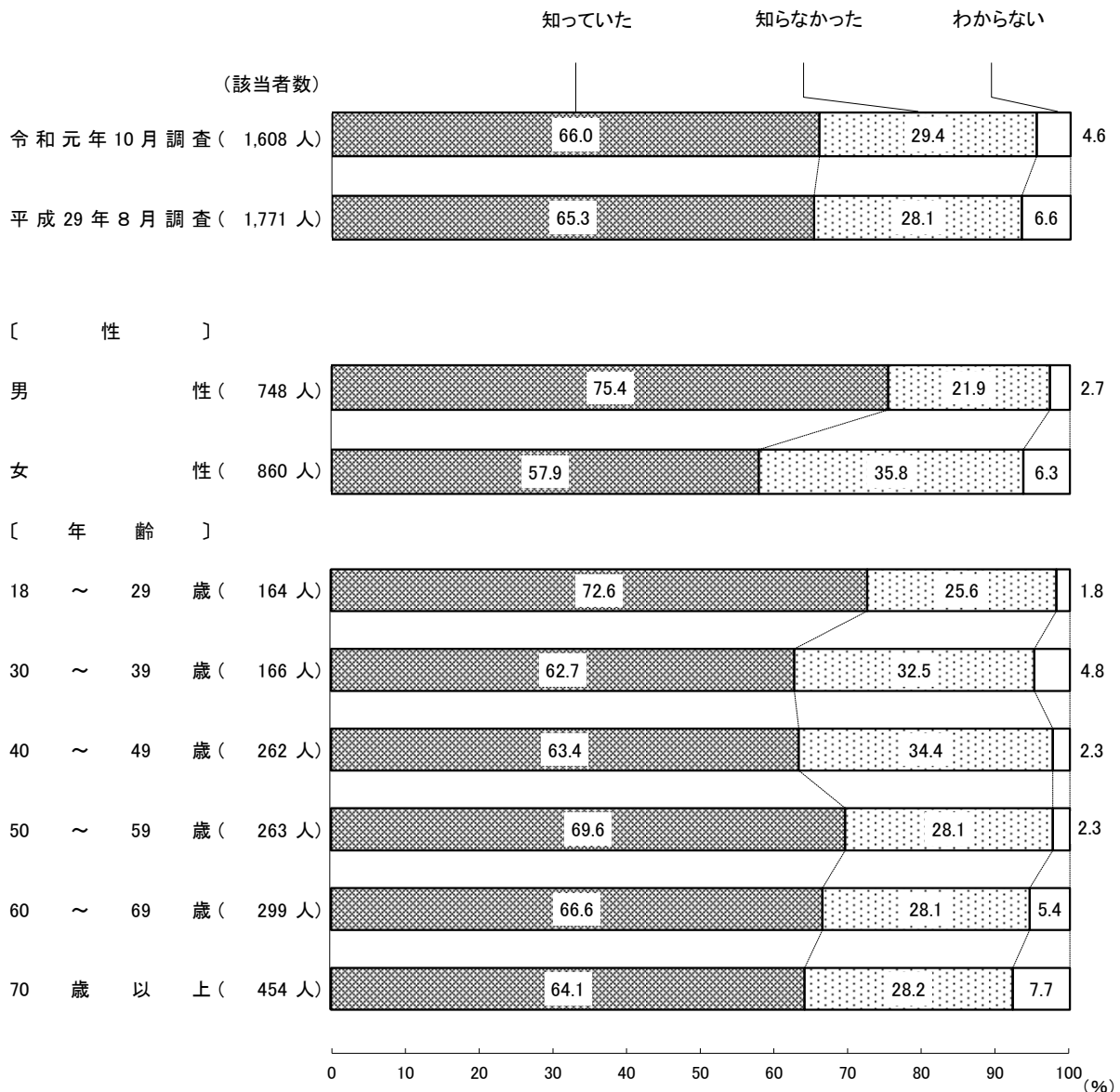


表1 国家の要素の認知

	該 当 者 数	知 っ て い た	知 ら な か っ た	わ か ら な い
	人	%	%	%
総 〔都市規模〕 大都市 東京都 政令指定都市 中 小 町 〔性〕 男 女 〔年齢〕 18～29歳 30～39歳 40～49歳 50～59歳 60～69歳 70歳以上	1,608 380 67 313 681 403 144 748 860 164 166 262 263 299 454	66.0 70.3 77.6 68.7 67.5 58.1 70.1 75.4 57.9 72.6 62.7 63.4 69.6 66.6 64.1	29.4 26.1 17.9 27.8 26.7 38.5 25.0 21.9 35.8 25.6 32.5 34.4 28.1 28.1 28.2	4.6 3.7 4.5 3.5 5.7 3.5 4.9 2.7 6.3 1.8 4.8 2.3 2.3 5.4 7.7

表1－参考 国家の要素の認知

	該 当 者 数	知 っ て い た	知 ら な か っ た	わ か ら な い
	人	%	%	%
平成26年11月調査 平成29年8月調査 (うち20歳以上)	1,826 1,740	63.3 65.1	33.0 28.3	3.7 6.7
平成29年8月調査 令和元年10月調査	1,771 1,608	65.3 66.0	28.1 29.4	6.6 4.6

2 尖閣諸島に関する認知

(1) 尖閣諸島の認知

尖閣諸島と総称される島々があることを知っていたか聞いたところ、「知っていた」と答えた者の割合が90.0%、「知らなかった」と答えた者の割合が7.6%となっている。

前回の調査結果（平成29年8月調査結果をいう。以下同じ。）と比較してみると、大きな変化は見られない。

都市規模別に見ると、「知っていた」と答えた者の割合は中都市で高くなっている。

性別に見ると、「知っていた」と答えた者の割合は男性で高くなっている。（図2、表2）

図2 尖閣諸島の認知

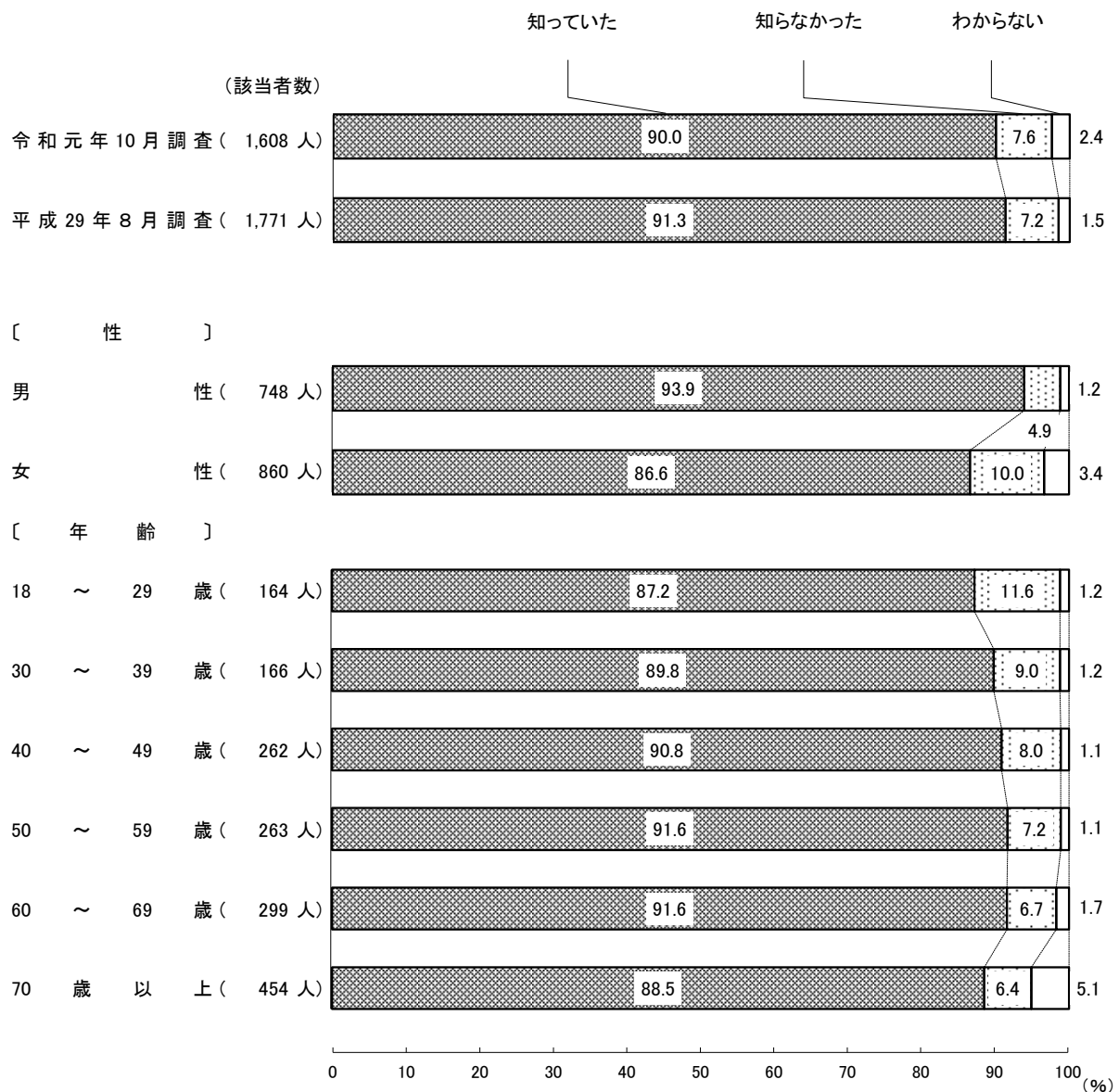


表2 尖閣諸島の認知

	該 当 者 数	知 っ て い た	知 ら な か っ た	わ か ら な い
	人	%	%	%
総 〔都市規模〕 大 都 市 東 京 都 区 部 政 令 指 定 都 市 中 都 市 小 都 市 町 村 〔性〕 男 性 女 性 〔年 齢〕 18 ～ 29 歳 30 ～ 39 歳 40 ～ 49 歳 50 ～ 59 歳 60 ～ 69 歳 70 歳 以 上	1,608 380 67 313 681 403 144 748 860 164 166 262 263 299 454	90.0 88.2 92.5 87.2 92.1 88.8 88.2 93.9 86.6 87.2 89.8 90.8 91.6 91.6 88.5	7.6 9.7 7.5 10.2 5.7 8.9 7.6 4.9 10.0 11.6 9.0 8.0 7.2 6.7 6.4	2.4 2.1 - 2.6 2.2 2.2 4.2 1.2 3.4 1.2 1.2 1.1 1.1 1.7 5.1

表2-参考 尖閣諸島の認知

	該 当 者 数	知 っ て い た	知 ら な か っ た	わ か ら な い
	人	%	%	%
平成25年7月調査	1,801	91.1	7.7	1.3
平成26年11月調査	1,826	92.3	6.9	0.8
平成29年8月調査 (うち20歳以上)	1,740	91.4	7.1	1.6
平成29年8月調査	1,771	91.3	7.2	1.5
令和元年10月調査	1,608	90.0	7.6	2.4

ア 尖閣諸島に関して知っていたこと

尖閣諸島と総称される島々があることを「知っていた」と答えた者（1,447人）に、尖閣諸島に関して、知っていたことを聞いたところ、「最近になって中国政府は、継続して政府の船舶を尖閣諸島周辺海域に派遣し、頻繁に領海侵入するといった行動を繰り返していること」を挙げた者の割合が69.1%、「中国による領海侵入といった行動に対し、日本政府は中国側に対して抗議を行っていること」を挙げた者の割合が68.8%と高く、以下、「尖閣諸島は魚釣島ほか複数の島などから成っていること」（55.0%）、「尖閣諸島は石垣島の北方に位置していること」（54.0%）、「尖閣諸島は沖縄県に属していること」（50.0%）などの順となっている。（複数回答、上位5項目）

前回の調査結果と比較してみると、「尖閣諸島は魚釣島ほか複数の島などから成っていること」（59.2%→55.0%）を挙げた者の割合が低下している。

性別に見ると、「最近になって中国政府は、継続して政府の船舶を尖閣諸島周辺海域に派遣し、頻繁に領海侵入するといった行動を繰り返していること」、「中国による領海侵入といった行動に対し、日本政府は中国側に対して抗議を行っていること」、「尖閣諸島は魚釣島ほか複数の島などから成っていること」、「尖閣諸島は石垣島の北方に位置していること」、「尖閣諸島は沖縄県に属していること」を挙げた者の割合は男性で高くなっている。（図3、表3）

図3 尖閣諸島に関して知っていたこと

(「知っていた」と答えた者に、複数回答)

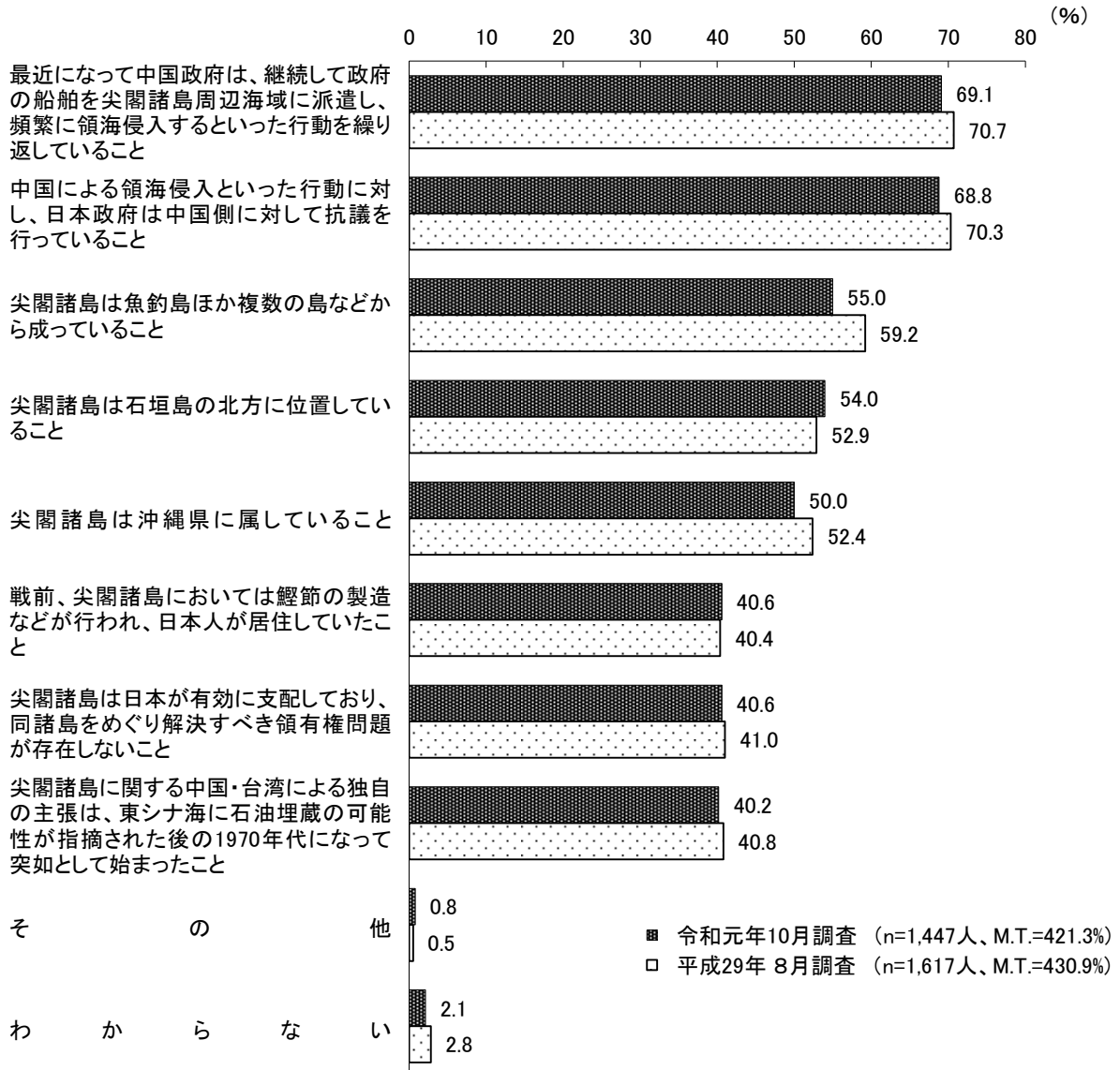


表3 尖閣諸島に関して知っていたこと

(「知っていた」と答えた者に、複数回答)

	該 当 者 数	最近になって中国 政府は、尖閣諸島周 辺海域に派遣し、頻 りに領海侵入する と繰り返していること	中国による領海侵入 と抗議を行っている こと	尖閣諸島は魚釣島ほ か複数の島などから 成っていること	尖閣諸島は石垣島の 北方に位置している こと	尖閣諸島は沖縄県に 属していること	戦前、尖閣諸島にお いては艦節の製造な どが行われ、日本人 が居住していたこと	尖閣諸島は日本が有 効に支配しており、 同諸島をめぐる解決 すべき領有権問題が 存在しないこと	尖閣諸島に関する中 国・台湾による独自 の主張は、東シナ海 に石油埋蔵の可能性 が指摘された後、19 70年代になって突如 として始まったこと	その他	わ か ら な い	計 (M.T.)
	人 数	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総数	1,447	69.1	68.8	55.0	54.0	50.0	40.6	40.6	40.2	0.8	2.1	421.3
〔都市規模〕												
大都市	335	69.9	70.7	58.2	57.3	52.5	46.6	42.7	43.9	0.3	1.5	443.6
東京都	62	67.7	62.9	46.8	48.4	45.2	46.8	35.5	38.7	-	1.6	393.5
政令指定都市	273	70.3	72.5	60.8	59.3	54.2	46.5	44.3	45.1	0.4	1.5	454.9
中都市	627	69.5	69.1	55.0	54.4	52.2	36.8	43.1	38.9	0.6	3.0	422.6
小都市	358	66.5	67.9	52.8	51.7	46.4	41.1	37.7	37.4	1.7	1.1	404.2
町	127	72.4	65.4	52.8	50.4	43.3	41.7	30.7	44.9	-	2.4	403.9
〔性〕												
男性	702	75.5	74.4	63.8	58.5	56.1	44.7	48.7	50.6	0.4	1.0	473.8
女性	745	63.1	63.6	46.7	49.8	44.3	36.6	32.9	30.5	1.1	3.2	371.8
〔年齢〕												
18～29歳	143	68.5	67.1	44.8	41.3	56.6	21.0	28.0	28.0	0.7	2.8	358.7
30～39歳	149	66.4	69.1	53.7	49.0	57.0	31.5	34.9	26.8	2.0	2.7	393.3
40～49歳	238	71.8	71.8	54.2	46.6	51.7	37.0	37.0	34.5	1.3	0.4	406.3
50～59歳	241	72.2	78.8	59.3	60.2	47.3	46.9	45.2	47.7	-	1.2	458.9
60～69歳	274	74.1	69.3	60.2	58.4	47.1	43.8	46.7	47.4	0.7	1.5	449.3
70歳以上	402	63.4	61.2	53.5	58.2	47.8	47.0	42.3	43.5	0.5	3.7	421.1

表3－参考 尖閣諸島に関して知っていたこと

(「知っていた」と答えた者に、複数回答)

	該 当 者 数	最近になつて中国側 尖閣諸島周辺海域に 行動を繰り返している こと	中国による領海侵入 対して抗議を行っている こと	尖閣諸島は魚釣島ほか 複数の島などから成つ ていること	尖閣諸島は石垣島の北 方に位置していること	尖閣諸島は沖縄県に属 していること	戦前、尖閣諸島におい ては艦節の製造などが 行われ、日本人が居住 していたこと	尖閣諸島は日本が有効 に支配しており、同諸 島をめぐる解決すべき 領有権問題が存在しな いこと	尖閣諸島に関する中国 ・台湾による独自の主 張の可能性が指摘され たこと	その他	わか らな い	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成25年7月調査	1,640	75.0	74.5	63.6	57.5	65.7	50.9	48.0	51.0	0.5	1.9	488.7
平成26年11月調査	1,685	79.6	79.1	63.1	54.4	58.6	46.1	48.2	45.2	0.2	1.2	475.7
平成29年8月調査 (うち20歳以上)	1,590	70.8	70.2	59.3	53.1	51.9	40.6	41.0	40.7	0.5	2.8	430.9
平成29年8月調査	1,617	70.7	70.3	59.2	52.9	52.4	40.4	41.0	40.8	0.5	2.8	430.9
令和元年10月調査	1,447	69.1	68.8	55.0	54.0	50.0	40.6	40.6	40.2	0.8	2.1	421.3

イ 尖閣諸島の認知経路

尖閣諸島と総称される島々があることを「知っていた」と答えた者（1,447人）に、尖閣諸島に関して、何から知ったか聞いたところ、「テレビ・ラジオ」を挙げた者の割合が93.0%と最も高く、以下、「新聞」（55.4%）などの順となっている。（複数回答、上位2項目）

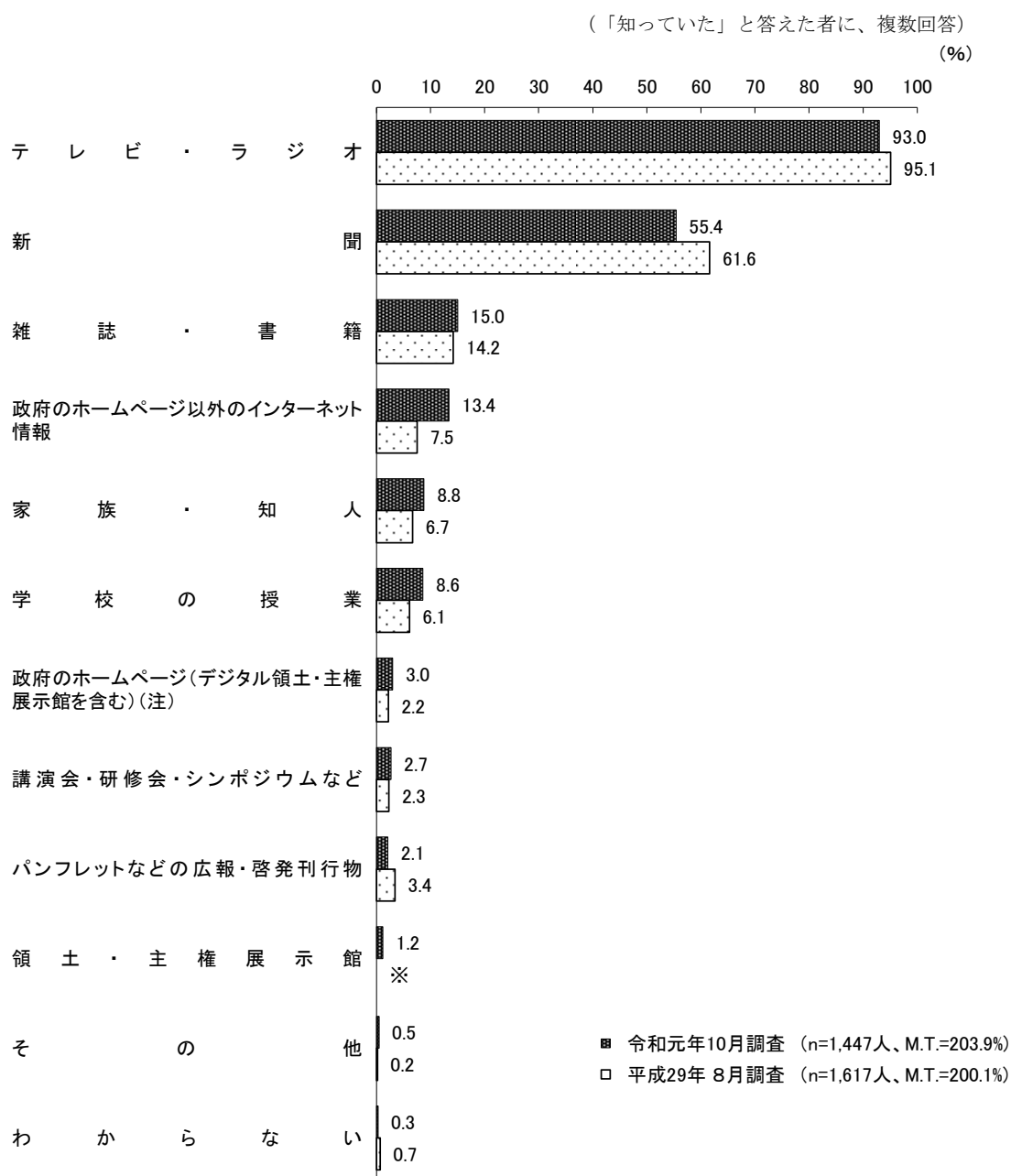
前回の調査結果と比較してみると、「テレビ・ラジオ」（95.1%→93.0%）、「新聞」（61.6%→55.4%）を挙げた者の割合が低下している。

性別に見ると、「新聞」を挙げた者の割合は男性で高くなっている。

年齢別に見ると、「新聞」を挙げた者の割合は60歳代、70歳以上で高くなっている。

（図4、表4）

図4 尖閣諸島の認知経路



（注）平成29年8月調査では、「政府のホームページ」となっている。

表4 尖閣諸島の認知経路

(「知っていた」と答えた者に、複数回答)

	該 当 者 数	テ レ ビ ・ ラ ジ オ	新 聞	雑 誌 ・ 書 籍	政 府 の ホ ー ム ペ ー ジ 以 外 の イ ン タ ー ネ ッ ト 情 報	家 族 ・ 知 人	学 校 の 授 業	政 府 の ホ ー ム ペ ー ジ (デ ジ タ ル 領 土 ・ 主 権 展 示 館 を 含 む	講 演 会 ・ 研 修 会 ・ シ ン ポ ジ ウ ム な ど	パ ン フ レ ッ ト な ど の 広 報 ・ 啓 発 刊 行 物	領 土 ・ 主 権 展 示 館	そ の 他	わ か ら な い	計 (M. T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総数	1,447	93.0	55.4	15.0	13.4	8.8	8.6	3.0	2.7	2.1	1.2	0.5	0.3	203.9
[都市規模]														
大都市	335	93.1	54.3	15.8	17.0	11.0	7.8	4.5	3.0	2.1	1.2	0.6	-	210.4
東京都	62	96.8	43.5	16.1	16.1	14.5	11.3	1.6	3.2	3.2	-	1.6	-	208.1
政令指定都市	273	92.3	56.8	15.8	17.2	10.3	7.0	5.1	2.9	1.8	1.5	0.4	-	211.0
中都市	627	92.0	55.3	14.8	12.4	8.3	9.6	2.1	3.7	2.6	1.4	0.8	0.5	203.5
小都市	358	94.1	55.3	15.1	12.8	7.0	8.4	3.1	1.7	1.7	0.6	-	-	199.7
町	127	94.5	58.3	13.4	10.2	10.2	6.3	3.1	-	0.8	2.4	-	1.6	200.8
[性]														
男性	702	91.9	63.1	21.2	17.9	6.3	8.5	4.3	3.1	1.6	1.1	0.9	0.3	220.2
女性	745	94.1	48.1	9.1	9.1	11.1	8.6	1.7	2.3	2.6	1.3	0.1	0.4	188.6
[年齢]														
18～29歳	143	90.2	30.8	9.8	12.6	7.7	40.6	4.9	2.8	0.7	-	-	-	200.0
30～39歳	149	92.6	38.9	12.1	24.8	16.8	14.1	2.0	2.7	-	0.7	-	0.7	205.4
40～49歳	238	92.0	45.8	13.4	20.6	6.3	8.0	2.9	1.3	1.7	0.8	0.4	-	193.3
50～59歳	241	94.6	56.4	18.3	20.3	9.1	5.4	4.6	2.5	1.7	2.1	1.2	0.4	216.6
60～69歳	274	93.4	69.3	19.0	8.0	9.9	2.2	2.6	2.9	2.9	1.1	-	0.4	211.7
70歳以上	402	93.5	65.7	14.2	4.7	6.7	1.7	2.0	3.5	3.2	1.7	0.7	0.5	198.3

表4－参考 尖閣諸島の認知経路

(「知っていた」と答えた者に、複数回答)

	該 当 者 数	テ レ ビ ・ ラ ジ オ	新 聞	雑 誌 ・ 書 籍	政府のホーム ページ以外のイン ターネット情報 (注1)	家 族 ・ 知 人	学 校 の 授 業	主 権 展 示 館 を 含 む (注2)	講 演 会 ・ 研 修 会 ・ シ ン ポ ジ ウ ム な ど	パ ン フ レ ット な ど の 広 報 ・ 啓 発 刊 行 物	領 土 ・ 主 権 展 示 館	そ の 他	わ か ら な い	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成25年7月調査	1,640	96.8	72.4	19.1	7.2	11.1	4.8	2.6	3.2	3.5	※	0.3	0.2	221.2
平成26年11月調査	1,685	97.0	69.7	20.4	8.4	11.1	4.8	2.6	3.1	4.3	※	0.2	0.4	222.0
平成29年8月調査 (うち20歳以上)	1,590	95.2	61.9	14.5	7.5	6.8	5.0	2.3	2.3	3.5	※	0.2	0.7	199.7
平成29年8月調査	1,617	95.1	61.6	14.2	7.5	6.7	6.1	2.2	2.3	3.4	※	0.2	0.7	200.1
令和元年10月調査	1,447	93.0	55.4	15.0	13.4	8.8	8.6	3.0	2.7	2.1	1.2	0.5	0.3	203.9

(注1) 平成25年7月調査では、「首相官邸・外務省ホームページ以外のインターネット情報」となっている。

(注2) 平成25年7月調査では、「首相官邸・外務省ホームページ」となっている。

平成29年8月調査までは、「政府のホームページ」となっている。

3 尖閣諸島に対する関心

(1) 尖閣諸島に対する関心度

尖閣諸島に関して、関心があるか聞いたところ、「関心がある」とする者の割合が65.9%（「関心がある」26.9%＋「どちらかといえば関心がある」39.1%）、「関心がない」とする者の割合が31.3%（「どちらかといえば関心がない」21.1%＋「関心がない」10.2%）となっている。

前回の調査結果と比較してみると、「関心がある」（62.2%→65.9%）とする者の割合が上昇し、「関心がない」（34.8%→31.3%）とする者の割合が低下している。

性別に見ると、「関心がある」とする者の割合は男性で、「関心がない」とする者の割合は女性で、それぞれ高くなっている。

年齢別に見ると、「関心がない」とする者の割合は18～29歳、30歳代で高くなっている。

（図5、表5）

図5 尖閣諸島に対する関心度

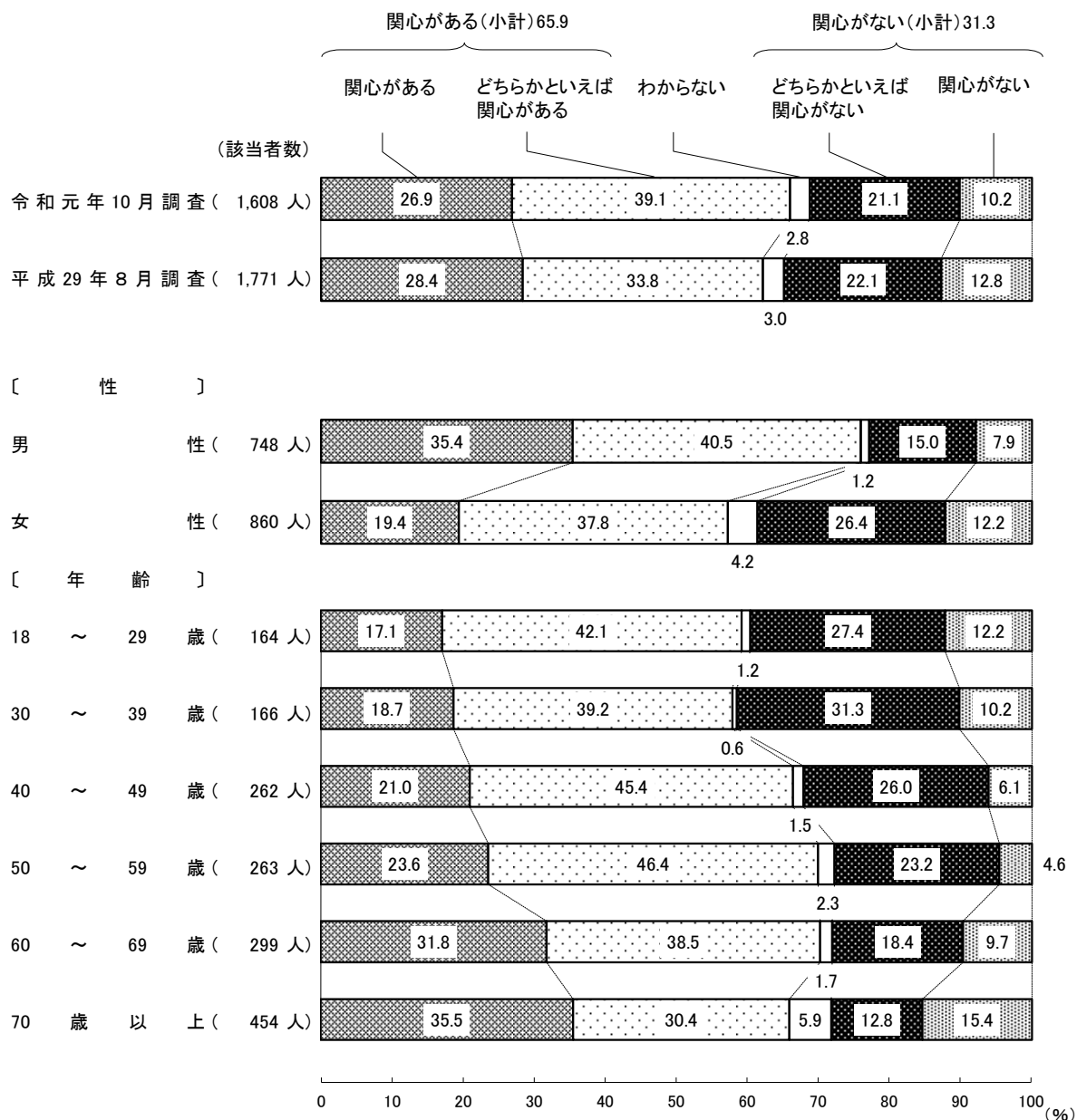


表5 尖閣諸島に対する関心度

	該 当 者 数	関 心 が (小あ 計) る			関 心 が (小な 計) い			わ か ら な い
		関 心 が あ る	ど ち ら か と い え ば 関 心 が あ る	関 心 が あ る	関 心 が あ る	ど ち ら か と い え ば 関 心 が あ る	関 心 が あ る	
	人	%	%	%	%	%	%	%
総数	1,608	65.9	26.9	39.1	31.3	21.1	10.2	2.8
〔都市規模〕								
大都市	380	68.4	28.9	39.5	30.0	20.3	9.7	1.6
東京都区部	67	76.1	32.8	43.3	23.9	19.4	4.5	-
政令指定都市	313	66.8	28.1	38.7	31.3	20.4	10.9	1.9
中都市	681	66.2	28.8	37.4	31.1	20.7	10.4	2.6
小都市	403	64.5	21.6	42.9	33.3	22.1	11.2	2.2
町	144	61.8	27.1	34.7	29.9	22.2	7.6	8.3
〔性〕								
男女	748	75.9	35.4	40.5	22.9	15.0	7.9	1.2
〔年齢〕								
18～29歳	164	59.1	17.1	42.1	39.6	27.4	12.2	1.2
30～39歳	166	57.8	18.7	39.2	41.6	31.3	10.2	0.6
40～49歳	262	66.4	21.0	45.4	32.1	26.0	6.1	1.5
50～59歳	263	70.0	23.6	46.4	27.8	23.2	4.6	2.3
60～69歳	299	70.2	31.8	38.5	28.1	18.4	9.7	1.7
70歳以上	454	65.9	35.5	30.4	28.2	12.8	15.4	5.9

表5-参考 尖閣諸島に対する関心度

	該 当 者 数	関 心 が (小あ 計) る			関 心 が (小な 計) い			わ か ら な い
		関 心 が あ る	ど ち ら か と い え ば 関 心 が あ る	関 心 が あ る	関 心 が あ る	ど ち ら か と い え ば 関 心 が あ る	関 心 が あ る	
	人	%	%	%	%	%	%	%
平成25年7月調査	1,801	73.7	37.7	36.0	24.9	17.9	7.0	1.3
平成26年11月調査	1,826	74.5	38.0	36.5	23.8	15.6	8.3	1.7
平成29年8月調査 (うち20歳以上)	1,740	62.1	28.3	33.8	34.9	22.2	12.6	3.0
平成29年8月調査	1,771	62.2	28.4	33.8	34.8	22.1	12.8	3.0
令和元年10月調査	1,608	65.9	26.9	39.1	31.3	21.1	10.2	2.8

ア 尖閣諸島への関心内容

尖閣諸島に関して、「関心がある」または「どちらかといえば関心がある」と答えた者（1,060人）に、具体的にどのようなことに関心があるか聞いたところ、「我が国の尖閣諸島に対する領有権の根拠」を挙げた者の割合が59.0%と最も高く、以下、「中国・台湾の主張」（43.9%）、「歴史的経緯」（42.8%）、「日中関係に与える影響」（40.9%）、「周辺の地下資源や水産資源」（40.0%）、「日本及び中国・台湾以外の各国・地域の態度」（36.1%）などの順となっている。（複数回答、上位6項目）

前回の調査結果と比較してみると、「歴史的経緯」（50.9%→42.8%）、「日本及び中国・台湾以外の各国・地域の態度」（42.2%→36.1%）を挙げた者の割合が低下している。

性別に見ると、「周辺の地下資源や水産資源」を挙げた者の割合は男性で高くなっている。

（図6、表6）

図6 尖閣諸島への関心内容

（「関心がある」または「どちらかといえば関心がある」と答えた者に、複数回答）

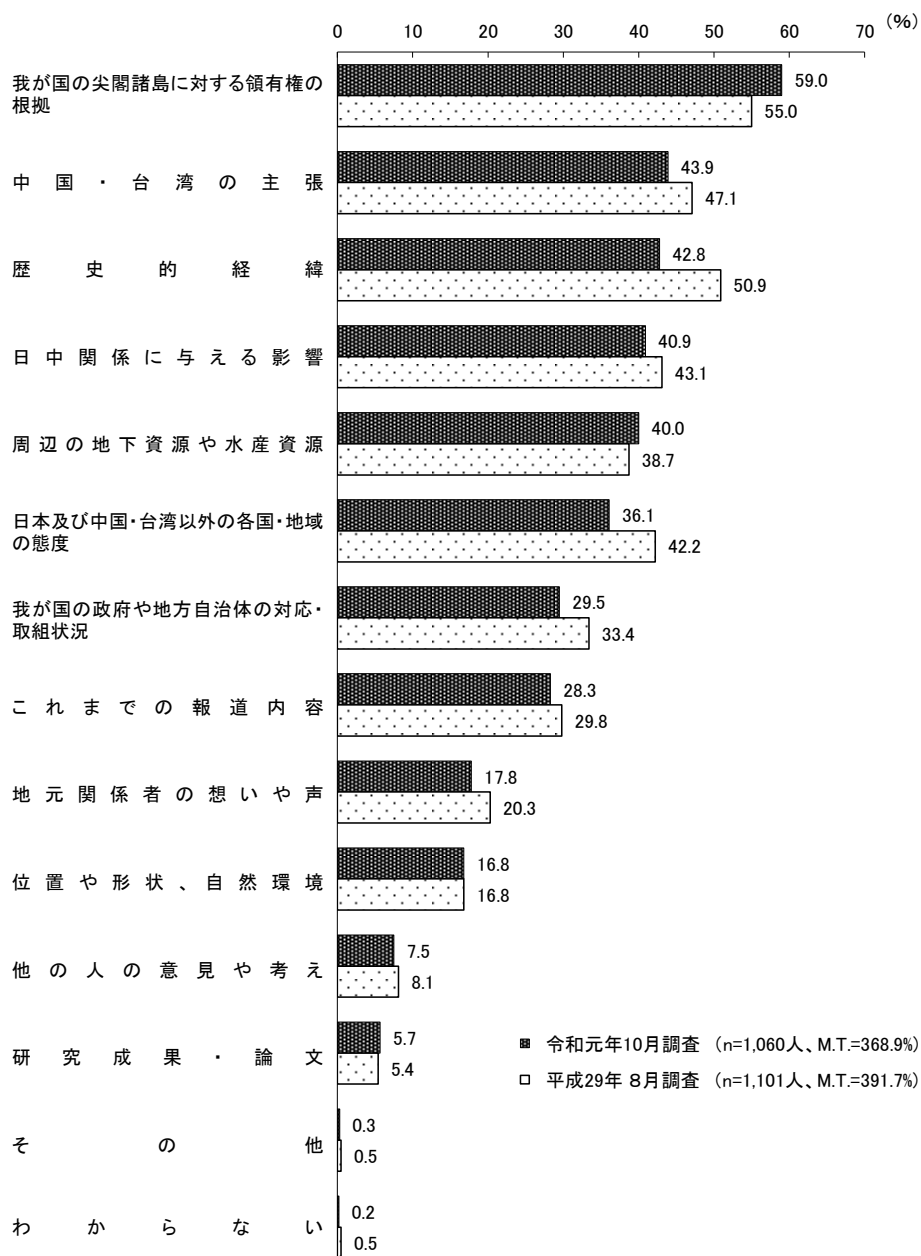


表6 尖閣諸島への関心内容

(「関心がある」または「どちらかといえば関心がある」と答えた者に、複数回答)

	該 当 者 数	根 拠 我が 国 の 尖 閣 諸 島 に 対 す る 領 有 権 の	中 国 ・ 台 湾 の 主 張	歴 史 的 経 緯	日 中 関 係 に 与 え る 影 響	周 辺 の 地 下 資 源 や 水 産 資 源	域 の 態 度 日 本 及 び 中 国 ・ 台 湾 以 外 の 各 国 ・ 地	取 組 状 況 我が 国 の 政 府 や 地 方 自 治 体 の 対 応	こ れ ま で の 報 道 内 容	地 元 関 係 者 の 想 い や 声	位 置 や 形 状 、 自 然 環 境	他 の 人 の 意 見 や 考 え	研 究 成 果 ・ 論 文	そ の 他	わ か ら な い	計 (M. T.) %
総 数 〔 都 市 規 模 〕	1,060	59.0	43.9	42.8	40.9	40.0	36.1	29.5	28.3	17.8	16.8	7.5	5.7	0.3	0.2	368.9
大 都 市	260	59.2	45.4	44.6	40.8	40.4	38.8	33.1	25.8	20.0	16.5	10.8	6.2	0.4	0.4	382.3
東 京 都 区 部 市	51	51.0	35.3	60.8	37.3	33.3	39.2	25.5	23.5	23.5	17.6	13.7	3.9	-	-	364.7
政 令 指 定 都 市	209	61.2	47.8	40.7	41.6	42.1	38.8	34.9	26.3	19.1	16.3	10.0	6.7	0.5	0.5	386.6
中 都 市	451	60.3	44.8	42.8	41.2	38.1	37.9	29.5	29.9	16.2	16.2	7.5	5.5	0.2	0.2	370.5
小 都 市	260	59.6	41.5	39.6	39.6	40.0	32.3	27.7	27.3	20.4	18.1	5.4	5.4	0.4	-	357.3
町 村	89	49.4	41.6	47.2	43.8	48.3	30.3	24.7	30.3	12.4	16.9	4.5	5.6	-	-	355.1
〔 性 〕																
男 性	568	60.7	45.4	43.5	38.6	43.1	34.9	29.2	25.5	14.3	15.8	7.0	5.6	0.5	0.4	364.6
女 性	492	56.9	42.1	42.1	43.7	36.4	37.6	29.9	31.5	22.0	17.9	8.1	5.7	-	-	373.8
〔 年 齢 〕																
18 ～ 29 歳	97	52.6	48.5	43.3	44.3	36.1	26.8	25.8	26.8	14.4	11.3	8.2	6.2	-	-	344.3
30 ～ 39 歳	96	67.7	60.4	47.9	57.3	40.6	47.9	35.4	31.3	27.1	14.6	15.6	10.4	-	-	456.3
40 ～ 49 歳	174	54.6	43.7	40.8	47.7	36.8	44.8	31.0	25.9	17.8	12.1	6.3	8.6	-	-	370.1
50 ～ 59 歳	184	62.5	41.3	42.9	40.2	40.8	44.6	31.5	26.6	20.1	16.8	7.1	3.8	-	-	378.3
60 ～ 69 歳	210	61.4	48.6	48.1	39.0	37.1	38.1	32.9	29.0	16.7	19.0	6.2	4.3	-	-	380.5
70 歳 以 上	299	56.9	35.5	38.5	32.4	44.5	23.7	24.4	29.8	15.4	20.4	6.7	4.3	1.0	0.7	334.1

表6-参考 尖閣諸島への関心内容

(「関心がある」または「どちらかといえば関心がある」と答えた者に、複数回答)

	該 当 者 数	根 拠 我が 国 の 尖 閣 諸 島 に 対 す る 領 有 権 の	中 国 ・ 台 湾 の 主 張	歴 史 的 経 緯	日 中 関 係 に 与 え る 影 響	周 辺 の 地 下 資 源 や 水 産 資 源	域 の 態 度 日 本 及 び 中 国 ・ 台 湾 以 外 の 各 国 ・ 地	取 組 状 況 我が 国 の 政 府 や 地 方 自 治 体 の 対 応	こ れ ま で の 報 道 内 容	地 元 関 係 者 の 想 い や 声	位 置 や 形 状 、 自 然 環 境	他 の 人 の 意 見 や 考 え	研 究 成 果 ・ 論 文	そ の 他	わ か ら な い	計 (M. T.) %
平成25年7月調査	1,328	62.6	45.4	54.9	※	47.3	49.7	44.4	29.0	21.9	17.5	9.6	7.5	0.8	0.5	391.0
平成26年11月調査	1,360	60.3	45.1	53.5	47.8	44.8	47.6	42.0	34.5	20.0	19.9	9.4	5.2	0.9	0.1	431.2
平成29年8月調査 (うち20歳以上)	1,081	55.1	46.9	50.9	43.2	38.9	42.1	33.8	30.2	20.4	16.9	8.1	5.4	0.6	0.6	393.1
平成29年8月調査	1,101	55.0	47.1	50.9	43.1	38.7	42.2	33.4	29.8	20.3	16.8	8.1	5.4	0.5	0.5	391.7
令和元年10月調査	1,060	59.0	43.9	42.8	40.9	40.0	36.1	29.5	28.3	17.8	16.8	7.5	5.7	0.3	0.2	368.9

イ 尖閣諸島に関心がない理由

尖閣諸島に関して、「どちらかといえば関心がない」または「関心がない」と答えた者（503人）に、関心がない理由は何か聞いたところ、「自分の生活にあまり影響がないことだと思うから」を挙げた者の割合が59.8%と最も高く、以下、「尖閣諸島に関して知る機会や考える機会がなかったから」（33.6%）、「内容が難しいから」（23.5%）などの順となっている。（複数回答、上位3項目）

性別に見ると、「自分の生活にあまり影響がないことだと思うから」を挙げた者の割合は男性で、「尖閣諸島に関して知る機会や考える機会がなかったから」を挙げた者の割合は女性で、それぞれ高くなっている。（図7、表7）

図7 尖閣諸島に関心がない理由

（「どちらかといえば関心がない」または「関心がない」と答えた者に、複数回答）

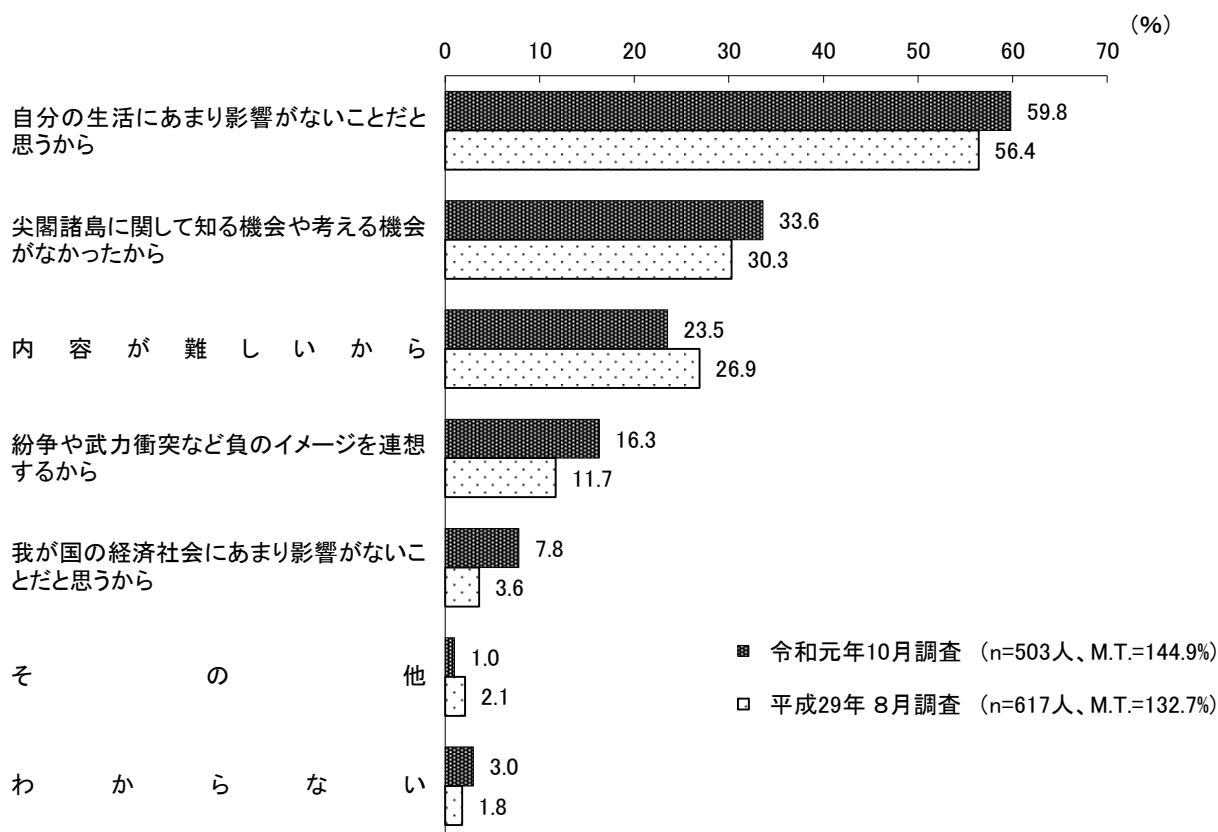


表7 尖閣諸島に関心がない理由

(「どちらかといえば関心がない」または「関心がない」と答えた者に、複数回答)

	該 当 者 数	だ 自 分 の 生 活 に あ ま り 影 響 が な い こ と	機 会 が な か つ た か ら	内 容 が 難 し い か ら	連 紛 争 や 武 力 衝 突 な ど 負 の イ メ ー ジ を	い 我 が 国 の 経 済 社 会 に あ ま り 影 響 が な	そ の 他	わ か ら な い	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%
総数	503	59.8	33.6	23.5	16.3	7.8	1.0	3.0	144.9
〔都市規模〕									
大都市	114	54.4	39.5	21.1	17.5	4.4	0.9	1.8	139.5
東京都区	16	43.8	25.0	12.5	25.0	-	-	6.3	112.5
政令指定都市	98	56.1	41.8	22.4	16.3	5.1	1.0	1.0	143.9
中都市	212	66.5	31.6	19.3	17.5	9.4	0.5	4.7	149.5
小都市	134	55.2	31.3	29.9	15.7	9.7	0.7	2.2	144.8
〔性〕									
村	43	55.8	34.9	30.2	9.3	2.3	4.7	-	137.2
男性	171	67.3	27.5	20.5	19.9	10.5	0.6	2.3	148.5
女性	332	56.0	36.7	25.0	14.5	6.3	1.2	3.3	143.1
〔年齢〕									
18～29歳	65	64.6	33.8	24.6	21.5	6.2	-	1.5	152.3
30～39歳	69	60.9	39.1	15.9	18.8	5.8	1.4	4.3	146.4
40～49歳	84	58.3	39.3	25.0	8.3	4.8	1.2	1.2	138.1
50～59歳	73	57.5	45.2	21.9	17.8	12.3	-	1.4	156.2
60～69歳	84	69.0	29.8	28.6	13.1	6.0	-	-	146.4
70歳以上	128	53.1	22.7	23.4	18.8	10.2	2.3	7.0	137.5

表7-参考 尖閣諸島に関心がない理由

(「どちらかといえば関心がない」または「関心がない」と答えた者に、複数回答)

	該 当 者 数	だ 自 分 の 生 活 に あ ま り 影 響 が な い こ と	機 会 が な か つ た か ら	内 容 が 難 し い か ら	連 紛 争 や 武 力 衝 突 な ど 負 の イ メ ー ジ を	い 我 が 国 の 経 済 社 会 に あ ま り 影 響 が な	そ の 他	わ か ら な い	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%
平成25年7月調査	449	61.2	37.4	24.9	16.7	6.0	1.6	1.6	149.4
平成26年11月調査	435	55.2	35.9	26.7	15.4	6.9	3.0	1.4	144.4
平成29年8月調査 (うち20歳以上)	607	56.3	30.3	26.5	11.5	3.6	2.1	1.8	132.3
平成29年8月調査	617	56.4	30.3	26.9	11.7	3.6	2.1	1.8	132.7
令和元年10月調査	503	59.8	33.6	23.5	16.3	7.8	1.0	3.0	144.9

4 尖閣諸島に関する広報・啓発活動について

(1) 尖閣諸島への関心を深めるための取組

広く国民が、尖閣諸島に関して、関心を深めるためには、どのような取組が必要だと思うか聞いたところ、「テレビ・ラジオ番組や新聞を利用した詳細な情報の提供」を挙げた者の割合が78.7%と最も高く、以下、「インターネット・ホームページ、フェイスブックやツイッターなどのSNSによる広報」（42.0%）、「テレビ・ラジオCMの放送」（29.7%）、「領土・主権展示館*の周知、内容・イベントの充実（*竹島、尖閣諸島、北方領土が我が国固有の領土であることを示す資料を展示している国の施設）」（27.5%）、「歴史的資料や文献の展覧会の開催」（25.2%）などの順となっている。（複数回答、上位5項目）

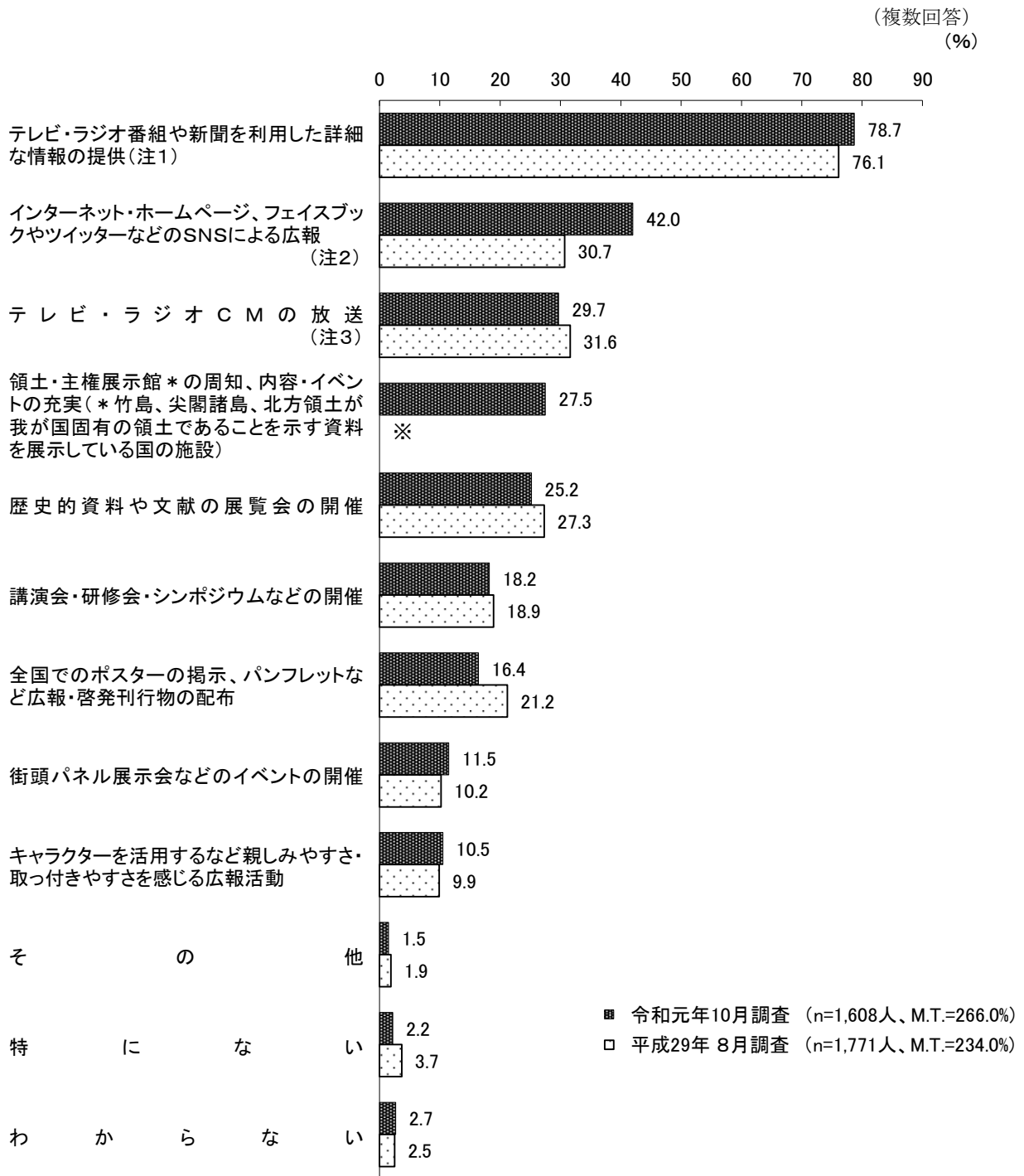
前回の調査結果と比較してみると、「インターネット・ホームページ、フェイスブックやツイッターなどのSNSによる広報」（30.7%→42.0%）を挙げた者の割合が上昇している。

性別に見ると、「インターネット・ホームページ、フェイスブックやツイッターなどのSNSによる広報」、「テレビ・ラジオCMの放送」、「歴史的資料や文献の展覧会の開催」を挙げた者の割合は男性で高くなっている。

年齢別に見ると、「インターネット・ホームページ、フェイスブックやツイッターなどのSNSによる広報」を挙げた者の割合は18～29歳から50歳代で、「領土・主権展示館*の周知、内容・イベントの充実（*竹島、尖閣諸島、北方領土が我が国固有の領土であることを示す資料を展示している国の施設）」を挙げた者の割合は60歳代で、それぞれ高くなっている。

（図8、表8）

図8 尖閣諸島への関心を深めるための取組



(注1) 平成29年8月調査では、「テレビ番組や新聞を利用した詳細な情報の提供」となっている。

(注2) 平成29年8月調査では、「見やすさ・わかりやすさを重視したインターネット・ホームページによる広報」となっている。

(注3) 平成29年8月調査では、「テレビ・ラジオCMの放映」となっている。

表8 尖閣諸島への関心を深めるための取組

(複数回答)

	該 当 者 数	テレビ・ラジオ番組や新聞を利用した詳細な情報の提供	インターネット・ホームページ、フェイスブックやツイッターなどのSNSによる広報	テレビ・ラジオCMの放送	領土・主権展示館*の周知、内容・イベントの充実 (*竹島、尖閣諸島、北方領土が我が国の固有の領土であることを示す資料を展示している国の施設)	歴史的資料や文献の展覧会の開催	講演会・研修会・シンポジウムなどの開催	啓発刊行物の配布	全国でのポスターの掲示、パンフレットなど広報・啓発物の配布	街頭パネル展示会などのイベントの開催	キャラクターを活用するなど親しみやすさ・取っ付きやすさを感じる広報活動	その他	特 に な い	わ か ら な い	計 (M.T.)
	人 数	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総数	1,608	78.7	42.0	29.7	27.5	25.2	18.2	16.4	11.5	10.5	1.5	2.2	2.7	266.0	
〔都市規模〕															
大都市	380	80.5	44.2	27.4	30.0	26.8	18.7	21.1	13.9	13.2	1.6	2.6	1.8	281.8	
東京都区部	67	79.1	46.3	34.3	37.3	32.8	22.4	20.9	16.4	19.4	-	6.0	-	314.9	
政令指定都市	313	80.8	43.8	25.9	28.4	25.6	17.9	21.1	13.4	11.8	1.9	1.9	2.2	274.8	
中都市	681	77.2	40.7	29.2	27.5	25.8	17.3	15.3	12.3	9.1	1.9	1.5	3.4	261.2	
小都市	403	79.9	42.7	33.0	25.3	21.8	18.1	14.6	8.2	10.4	1.0	2.7	2.5	260.3	
町	144	77.8	40.3	28.5	27.1	27.1	21.5	14.6	10.4	10.4	0.7	2.8	2.1	263.2	
〔性〕															
男性	748	78.2	46.9	33.2	29.4	27.8	17.4	16.6	12.2	10.6	2.1	2.5	0.9	277.8	
女性	860	79.2	37.7	26.6	25.8	22.9	19.0	16.3	10.9	10.5	0.9	1.9	4.2	255.8	
〔年齢〕															
18～29歳	164	78.7	59.1	32.9	20.1	23.2	14.6	14.0	12.8	16.5	0.6	0.6	1.2	274.4	
30～39歳	166	77.7	60.8	26.5	26.5	25.3	20.5	16.9	10.2	11.4	-	1.2	1.2	278.3	
40～49歳	262	78.2	50.8	31.3	27.1	22.9	15.6	19.1	9.9	8.8	1.1	1.9	0.8	267.6	
50～59歳	263	81.0	54.0	34.6	31.6	25.5	19.0	18.3	12.9	8.0	1.1	1.1	1.1	288.2	
60～69歳	299	78.9	35.5	30.8	32.1	28.4	26.1	18.1	16.4	11.7	1.3	3.7	2.0	284.9	
70歳以上	454	78.0	21.1	25.1	25.3	24.9	14.5	13.4	8.4	9.7	2.9	2.9	6.2	232.4	

表8－参考 尖閣諸島への関心を深めるための取組

(複数回答)

	該 当 者 数	テレビ・ラジオ番組や新聞を利用した詳細な情報の提供(注1)	インターネット・ホームページ、フェイスブックやツイッターなどのSNSによる広報(注2)	テレビ・ラジオCMの放映(注3)	領土・主権展示館*の周知、内容・イベントの充実(※*竹島、尖閣諸島、北方領土が我が国固有の領土であることを示す資料を展示している国の施設)	歴史的資料や文献の展覧会の開催	講演会・研修会・シンポジウムなどの開催	全国でのポスターの掲示、パンフレットなど広報・啓発刊行物の配布	街頭パネル展示会などのイベントの開催	キャラクターを活用するなど親しみやすさ・取っ付きやすさを感じる広報活動	その他	特 に な い	わ か ら な い	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成25年7月調査	1,801	79.1	33.9	27.3	※	35.9	24.5	27.5	15.0	13.0	2.4	3.2	1.8	263.8
平成26年11月調査	1,826	80.4	33.0	43.1	※	35.9	25.8	21.8	12.5	12.3	2.0	2.7	2.1	271.8
平成29年8月調査 (うち20歳以上)	1,740	76.2	30.7	31.6	※	27.3	18.9	21.4	10.3	9.9	1.8	3.8	2.6	234.5
平成29年8月調査	1,771	76.1	30.7	31.6	※	27.3	18.9	21.2	10.2	9.9	1.9	3.7	2.5	234.0
令和元年10月調査	1,608	78.7	42.0	29.7	27.5	25.2	18.2	16.4	11.5	10.5	1.5	2.2	2.7	266.0

(注1) 平成29年8月調査までは、「テレビ番組や新聞を利用した詳細な情報の提供」となっている。

(注2) 平成25年7月調査では、「見やすさ・わかりやすさを重視したインターネット・ホームページの開設」となっている。

平成29年8月調査までは、「見やすさ・わかりやすさを重視したインターネット・ホームページによる広報」となっている。

(注3) 平成25年7月調査では、「テレビCMの放映」となっている。

平成29年8月調査までは、「テレビ・ラジオCMの放映」となっている。

尖閣諸島に関する世論調査

令和元年10月

調査時期：令和元年10月19日から令和元年10月30日
調査対象：全国18歳以上の日本国籍を有する者3,000人
有効回収数(率)：1,608人 (53.6%)

話は変わりますが、次に「我が国の領土」に関してお伺いします。

1 国家の要素

(【資料1】を提示して、調査対象者によく読んでもらってから、以下の質問を行う。)

【資料1】

国家は、一般的に、「領域(領土・領海・領空)」・「住民」・「政府(実効的政治権力を確立している主体)」の3つの要素から成り立っているといわれています。国家間では、国境の画定や領有関係をめぐる紛争が各地で起こっています。日本もロシアとの北方領土問題、韓国とは島根県の竹島をめぐって領土問題があります。また、中国が沖縄県の尖閣諸島について領有権を主張しています。

Q1 国家は、一般的に「領域(領土・領海・領空)」・「住民」・「政府(実効的政治権力を確立している主体)」の3つの要素から成り立っているといわれていますが、あなたは、このことについて知っていましたか。それとも知らなかったですか。

- (66.0) 知っていた
- (29.4) 知らなかった
- (4.6) わからない

2 尖閣諸島に関する認知

(【資料2】を提示して、調査対象者によく読んでもらってから、以下の質問を行う。)

【資料2】

尖閣諸島は、石垣島の北方約170キロメートル離れた東シナ海に位置し、魚釣島、久場島、北小島、南小島、大正島などから成っています。

我が国は、1885年以降、再三にわたり尖閣諸島の現地調査を行い、単にこれが無人島であるのみならず、他国の支配が及んでいる痕跡がないことを慎重に確認の上、国際法の原則（無主地の先占）に従い、1895年に閣議決定を行って沖縄県に編入しました。その後、尖閣諸島においては鯨節の製造などが行われ、日本人が居住していました。

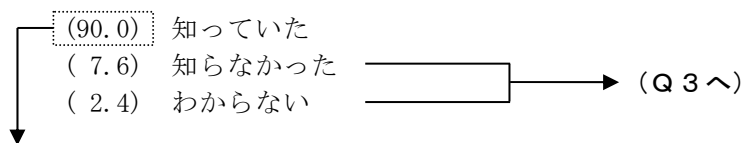
戦後、サンフランシスコ平和条約において、尖閣諸島は我が国が放棄した領土には含まれず、南西諸島の一部として米国の施政下に置かれましたが、当時、中国・台湾は一切異議を唱えませんでした。

さらに、1972年発効のいわゆる「沖縄返還協定」では、尖閣諸島は我が国に施政権が返還された地域の中に含まれています。

しかし、国連の報告書で東シナ海に石油埋蔵の可能性があることが指摘されると、我が国の閣議決定から76年後の1971年になって初めて、それまで何ら主張を行っていなかった中国・台湾は、尖閣諸島の「領有権」について独自の主張をするようになりました。2008年以降は継続的に中国政府の船舶が尖閣諸島周辺海域に派遣され、頻繁に領海侵入するなど、我が国への挑発的行動を繰り返しています。これに対し、我が国としては、日本の領土、領海、領空は断固として守り抜くとの決意の下、冷静かつ毅然とした対応を行うとともに、中国に対して厳重な抗議を行っています。

尖閣諸島が、日本固有の領土であることは歴史的にも国際法上も疑いなく、現に我が国はこれを有効に支配しており、尖閣諸島をめぐる解決すべき領有権の問題は存在しません。したがって、尖閣諸島について、「棚上げ」すべき問題は存在せず「棚上げ」に合意したという事実もありません。

Q 2 あなたは、尖閣諸島と総称される島々があることを知っていましたか。それとも知らなかったですか。



(Q 2で「知っていた」と答えた方に)

S Q 1 [回答票 1] 尖閣諸島に関して、あなたが知っていたことを、この中からいくつでもあげてください。(M. A.)

(n=1, 447)

- (54.0) (ア) 尖閣諸島は石垣島の北方に位置していること
- (55.0) (イ) 尖閣諸島は魚釣島ほか複数の島などから成っていること
- (40.6) (ウ) 戦前、尖閣諸島においては鰹節の製造などが行われ、日本人が居住していたこと
- (50.0) (エ) 尖閣諸島は沖縄県に属していること
- (40.2) (オ) 尖閣諸島に関する中国・台湾による独自の主張は、東シナ海に石油埋蔵の可能性が指摘された後の1970年代になって突如として始まったこと
- (69.1) (カ) 最近になって中国政府は、継続して政府の船舶を尖閣諸島周辺海域に派遣し、頻繁に領海侵入するといった行動を繰り返していること
- (68.8) (キ) 中国による領海侵入といった行動に対し、日本政府は中国側に対して抗議を行っていること
- (40.6) (ク) 尖閣諸島は日本が有効に支配しており、同諸島をめぐる解決すべき領有権問題が存在しないこと
- (0.8) その他 ()
- (2.1) わからない

(M.T.=421.3)

(Q 2で「知っていた」と答えた方に)

S Q 2 [回答票 2] あなたは、尖閣諸島に関して、何から知りましたか。この中からいくつでもあげてください。(M. A.)

(n=1, 447)

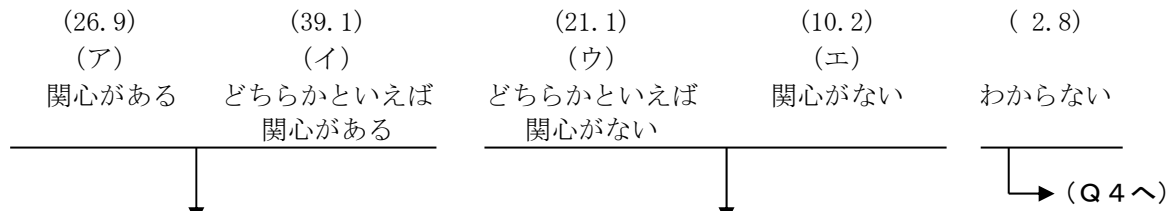
- (93.0) (ア) テレビ・ラジオ
- (55.4) (イ) 新聞
- (15.0) (ウ) 雑誌・書籍
- (2.1) (エ) パンフレットなどの広報・啓発刊行物
- (1.2) (オ) 領土・主権展示館
- (3.0) (カ) 政府のホームページ(デジタル領土・主権展示館を含む)
- (13.4) (キ) 政府のホームページ以外のインターネット情報
- (8.6) (ク) 学校の授業
- (2.7) (ケ) 講演会・研修会・シンポジウムなど
- (8.8) (コ) 家族・知人
- (0.5) その他 ()
- (0.3) わからない

(M.T.=203.9)

3 尖閣諸島に対する関心

(全員の方に)

Q 3 [回答票 3] あなたは、尖閣諸島に関して、関心がありますか。この中から 1 つだけお答えください。



(Q 3で「(ア) 関心がある」、「(イ) どちらかといえば関心がある」と答えた方に)

S Q a [回答票 4] では、具体的にどのようなことに関心がありますか。この中からいくつでもあげてください。(M. A.)

(n=1,060)

- (16.8) (ア) 位置や形状、自然環境
- (40.0) (イ) 周辺の地下資源や水産資源
- (42.8) (ウ) 歴史的経緯
- (59.0) (エ) 我が国の尖閣諸島に対する領有権の根拠
- (43.9) (オ) 中国・台湾の主張
- (36.1) (カ) 日本及び中国・台湾以外の各国・地域の態度
- (28.3) (キ) これまでの報道内容
- (29.5) (ク) 我が国の政府や地方自治体の対応・取組状況
- (17.8) (ケ) 地元関係者の想いや声
- (5.7) (コ) 研究成果・論文
- (7.5) (サ) 他の人の意見や考え
- (40.9) (シ) 日中関係に与える影響
- (0.3) その他 ()
- (0.2) わからない (M.T.=368.9)

(Q 3で「(ウ) どちらかといえば関心がない」、「(エ) 関心がない」と答えた方に)

S Q b [回答票 5] では、関心がない理由は何ですか。この中からいくつでもあげてください。(M. A.)

(n=503)

- (59.8) (ア) 自分の生活にあまり影響がないことだと思うから
- (7.8) (イ) 我が国の経済社会にあまり影響がないことだと思うから
- (16.3) (ウ) 紛争や武力衝突など負のイメージを連想するから
- (33.6) (エ) 尖閣諸島に関して知る機会や考える機会がなかったから
- (23.5) (オ) 内容が難しいから
- (1.0) その他 ()
- (3.0) わからない (M.T.=144.9)

4 尖閣諸島に関する広報・啓発活動について

(全員の方に)

Q 4 [回答票 6] あなたは、広く国民が、尖閣諸島に関して、関心を深めるためには、どのような取組が必要だと思いますか。この中からいくつでもあげてください。(M. A.)

- (78.7) (ア) テレビ・ラジオ番組や新聞を利用した詳細な情報の提供
- (29.7) (イ) テレビ・ラジオCMの放送
- (10.5) (ウ) キャラクターを活用するなど親しみやすさ・取っ付きやすさを感じる広報活動
- (11.5) (エ) 街頭パネル展示会などのイベントの開催
- (25.2) (オ) 歴史的資料や文献の展覧会の開催
- (18.2) (カ) 講演会・研修会・シンポジウムなどの開催
- (42.0) (キ) インターネット・ホームページ、フェイスブックやツイッターなどのSNSによる広報
- (16.4) (ク) 全国でのポスターの掲示、パンフレットなど広報・啓発刊行物の配布
- (27.5) (ケ) 領土・主権展示館*の周知、内容・イベントの充実
(* 竹島、尖閣諸島、北方領土が我が国固有の領土であることを示す資料を展示している国の施設)
- (1.5) その他 ()
- (2.2) 特にない
- (2.7) わからない (M.T.=266.0)